

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 清流の国ぎふ芸術祭開催事業費補助金 (アート体験)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化創造課 文化創造係 電話番号：058-272-1111 (内 2465)

E-mail: c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 17,933 千円 (前年度予算額：17,933 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	17,933	0	0	0	0	0	0	0	17,933
要求額	17,933	0	0	0	0	0	0	0	17,933
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県民の美術に対する関心を高め、美術に関する知識や技術を向上させるために「アート体験プログラム」を創設し、年間を通じて、様々な体験プログラム等を実施する。(H30より毎年実施)

### (2) 事業内容

一人でも多くの県民が、「アート」や「美術」を身近に感じ、親しみ、参加するきっかけとなるような岐阜県ならではの体験型プログラムを実施する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県の文化振興の主要プロジェクトである清流の国ぎふ芸術祭の柱の1つとして実施するものであり、全額県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	167	職員旅費
需用費	30	文具等消耗品費
役務費	7	電話代
委託料	1,648	県主催プログラム委託料
補助金	16,081	(公財) 県教育文化財団補助
合計	17,933	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

県主催及び、本補助金を受けて、(公財) 岐阜県教育文化財団が事業を実施する。

(公財) 岐阜県教育文化財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 文化芸術活動へ参加する県民の更なる増加、また、新たな文化の創造及び地域の伝統文化の継承により、自律的な文化活動を確立させる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
講座等参加率	(H )	(H )	105% (H30)	110% (R1)	100% (R3)	110%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

「アート体験プログラム-アートラボぎふ-」として、美術に対する関心を高めるため、また、美術に関する知識や技術を向上させる実技講座等を開催している。

### （前年度の成果）

県内各地で、日本画や写真などの実技講座、美術史等のレクチャー等を行い、県民の方々の美術に関する関心や、見識を深められている。  
 「様々な技能に驚き、刺激になった。」「今後絵を見る視点につながった。」などの意見をいただいている。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	県内の文化振興につながるため、事業の必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	参加率も高く、美術に対する関心を高めること、美術に関する知識や技術を向上させることに資している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	広報等も強化し、さらに多くの人にアートに関心を持ってもらえるように努めている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 旧県展では、応募者の減少、観覧者の固定化が問題となっていたが、本事業の実施により、美術に親しむ層の裾野を拡大し、問題を解消していく。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか。 本事業に対する県民のニーズのみならず、A A I C及びぎふ美術展についても更なる機運醸成を図り、県の文化、芸術振興のため、必要なプログラムを展開していく。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	清流の国ぎふ芸術祭開催事業費補助金（アート体験）
補助事業者（団体）	（公財）岐阜県教育文化財団 （理由）当該財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。
補助事業の概要	（目的）文化活動への参加及び創造を促進する （内容）「アトラボぎふ」の開催
補助率・補助単価等	定額・定率・ <span style="border: 1px solid black;">その他</span> （内容）県10/10 （理由）県の文化振興の主要プロジェクトとして実施するものであり、全額県負担とする。
補助効果	事業によって県文化の発展・継続が見込める
終期の設定	終期3年度 （理由）社会情勢等を踏まえ、継続・廃止等の判断を行う。

### （事業目標）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 文化芸術活動へ参加する県民の更なる増加。</li> </ul>
---

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 （年度末）	目標 （R3年度末）	目標 （終期）
講座等参加率		100%	100%

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 （要求）
補助金交付実績	-	10,564千円	14,814千円	9,792千円	16,081千円
指標①目標		100%	100%	100%	100%
指標①実績		105%	110%	-	（推計値） -
指標①達成率		105%	110%	-	（推計値） -

(前年度の成果)

県内各地で、日本画や写真などの実技講座、美術史等のレクチャー等を行い、県民の方々の美術に関する関心や、見識を深められている。  
「様々な技能に驚き、刺激になった。」「今後絵を見る視点につながった。」などの意見をいただいている。

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項  
旧県展では、応募者の減少、観覧者の固定化が問題となっていたが、本事業の実施により、美術に親しむ層の裾野を拡大し、問題を解消していく。

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い	
(評価) ○	県内の文化振興につながるため、事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	参加率も高く、美術に対する関心を高めること、美術に関する知識や技術を向上させることに資している。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある	
(評価) ○	広報等も強化し、さらに多くの人にアートに関心を持ってもらえるように努めている。

(事業の見直し検討)

美術に対する関心を高めるため、また、美術に関する知識や技術を向上させることで、岐阜県の文化振興に寄与する事業として継続が妥当である。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止  
(理由)

